

あとがき

東日本大震災も3か月を経て、ようやくその全貌が明らかになってきたものの未だ行方不明者は1万人に近い数字です。あらためて亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い復旧・復興に協力したいと思います。日本眼科学会と日本眼科医会は共同で義援金募集口座を開設しました。既に8,000万円を超す入金があり、被災地の眼科医会災害対策本部を通じて眼科医療復旧にむけて支援金を配分しました。当初は6月15日をもって締め切りの予定でしたが、太平洋岸の被害復旧は未だめどが立っておらず、12月末まで募集期間を延長いたしましたのでご協力をお願いいたします。

今回の大震災は巨大津波や原子力発電所の崩壊など、1995年の阪神・淡路大震災とは全く異なる様相を呈しており、想定外の大規模地震とはいえ、その対応を十分に検証することで、今後の世界災害に向け予防対策を発信することがわが国の責務であると思います。

医療においても同様なことがいえます。急激な老年人口の増加、労働人口の減少は従来の年金制度や国民皆保険による医療制度の存続を危うくします。世界に冠たる医療制度を維持するためには早くから健康意識を高め、予防医学を啓蒙する必要があります。しかも、それはしっかりとしたエビデンスに基づく必要があります。

本号に掲載された山下英俊先生の第64回日本臨床眼科学会特別講演「糖尿病網膜症診療の戦略」は、その意味からも重要な論文です。長年にわたる詳細な疫学調査により、わが国における網膜症発症、進行に係る危険因子を解明し、血糖コントロールによる一次予防、二次予防の効果が述べられています。また、健康診断に網膜血管径の画像診断を導入することで高血圧、動脈硬化のリスクを評価でき、メタボリックシンドロームの予防につながることを示唆されています。視機能の維持は高齢者の自立に必須であり、医療費の面からも眼科領域における予防医学はこれから益々重要になることでしょう。(根本 昭)

編集顧問	大野重昭 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 水流忠彦 西田輝夫 馬嶋昭生 増田寛次郎 三宅養三
編集委員	天野史郎 坂本泰二 鈴木康之 寺崎浩子 中澤 満 根本 昭 (五十音順)

臨床眼科 (第65巻 第7号)

2011年7月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)

2011 年年間購読料
冊子のみ 41,660 円 冊子 + 電子版 54,300 円
電子版/個人 41,660 円 電子版/共有 47,910 円
増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

担当 水野・風間・鶴淵・安部